

物流アンケート調査結果

1. 調査目的

パブリックコメントを実施するにあたり、企業にも交通に対する意向調査を実施する
企業対象の調査であるため、製品や原材料の流れを対象にアンケートを実施する

2. 調査方法

市内の企業10社(物流企業5社、主要企業5社)に協力依頼
回答については各企業の対応しやすい方法(郵送、メール等)により提出

3. 調査時期

パブリックコメントの募集期間(1月29日～2月12日)に併せて実施

4. 調査結果

回収状況 2月15日現在 10社中 8社から回答(物流企業4社、主要企業4社)

回答内容

問2 物流効率化のための取り組み

対策	できる部分は 全部実施済	実施しない	わからない	実施する
1)工場から配送拠点等への直送比率を増やす	3	1	1	
2)他頻度少量配送を減らし定時の中大口配送を増やす	2	1	2	
3)共同配送を導入する、共同配送を利用量を増やす	4	3		1
4)自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切り替えを進める	3		1	
5)高速道路の利用率を増やす(減らす)			3	1
6)上記以外				

問3 物流に関連した社会問題(渋滞、環境問題等)への取り組み

① 物流面における環境対策についての今後の方針

1)ディーゼル車について、「NOx・PM法の適合車」の利用を増やす(代替を進める)	2
2)中小型車について、天然ガス車などの低公害車の利用を増やす(代替を進める)	
3)環境問題の生じている一般道路の利用をやめる、減らす(指示する)	2
4)輸送効率の向上等を進め、貨物車の延べ走行台数を減らす	5
5)その他 (貨物運送事業者の評価方法のひとつとして環境対策を含めている。)	2
6)特になし	2

② 物流面の環境対策をより積極的にすすめるために必要な行政等の施策

1) 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導	2
2) 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備 (R8野洲川橋付近)	2
3) 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷捌き施設等の整備	
4) NOx・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実	6
5) 共同配送などの物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入	4
6) その他 (混雑地域の解消又は迂回ルート)	1
7) 特になし	1

問4 物流業務の向上のために必要となる行政施策

○ 野洲市周辺の道路について必要な施策、整備を必要とする箇所及びその理由

①野洲市周辺の道路ネットワークの整備 整備を優先する道路・区間 ○野洲川斎苑前橋梁 ○R8野洲栗東BP ○R8三上交差点付近 ○R8 ○P&G工場前	5
②高速道路のインターチェンジ(IC)へアクセスする一般道路の整備 アクセス道路整備を必要とするIC ○栗東IC 2件、○竜王IC	3
③道路のボトルネック(重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所)の解消 ボトルネック地点 ○R8野洲川橋、○久野部交差点	1
④大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ	4
⑤その他 ()	
⑥特になし	

5. 考察

「野洲市交通ネットワーク構想」への反映

- ・多くの企業から「国道8号の渋滞対策」が求められており、「野洲市交通ネットワーク構想(案)」においても課題として抽出し、対応方針を検討してきた。
- ・栗東IC、竜王ICのアクセス改善についても、同様に課題として抽出し、対応方針を検討してきた。

今後の対応

- ・野洲市の交通施策の推進に向けて参考にさせていただくとともに、国や県に対し機会をとらまえて要望していきたい。